

第2回会議での意見についての対応及び考え方

次第1 これまでの経緯と市の現状

番号	意見	対応・事務局としての考え方
1	長寿命化シナリオにすることで、通常周期において期間後半に発生する費用が、50年間の期間外に消えている。もっと長期間で見ると、長寿命化した場合の費用も変わってくるのではないか。	年平均費用を比較するための資料としてご理解ください。
2	コンパクトシティ化や施設の統廃合を進めていく必要がある。	実施計画の「基本的な考え方」などに反映させます。
3	公共サービスそのものをどうするかを踏まえて、公共施設のあり方を考える必要がある。	将来の蒲郡市の姿や公共サービスのあり方を踏まえて基本方針を策定しました。実施計画はその基本方針に基づき策定するものです。
4	本会議の役割として、公共サービスの内容自体を検討することも含まれているか。	公共サービスの範囲・内容についてご意見いただくことは問題ありません。しかしながら、いただいた意見を必ずしもすべて計画に反映できるものではないと考えています。

次第2 若者まちづくりミーティング実施結果

番号	意見	対応・事務局としての考え方
5	若者の考え方は非常に前向きだと感じた。海側の中心部に集約するという意見が提出されていたが、津波の可能性や、アクセスの問題もある。山手のバスが通っていない地域にも配慮し、全体でバランスを取ることも必要ではないか。	利便性を高める機能の集約を行うことを実施計画に記載します。 新たなインフラ整備を行わない範囲でバランスに配慮していきます。
6	公共施設の維持管理には、予想されている以上に、多額の費用が必要となると考えられる。早く結論を出し、事業を始めることが重要である。	事務局としても早急な対応が将来の負担軽減に直結すると考えます。
7	竹島に観光の機能を集約するといった提案や、魅力的なカフェを設置するといった提案は良いと思う。	平成27年度の市民会議でも多く意見が出された内容であるので実現させたいと考えます。 竹島周辺エリアの魅力向上については実施計画に記載します。
8	若者まちづくりミーティングの試みは素晴らしい。また、意見の内容も素晴らしいと思う。しかし、資料「若者まちづくりミーティング実施結果」の内容には、すべての意見が掲載されていないので客観性がない。都合よく使われてしまう危険性もあるのではないか。	若者まちづくりミーティング全5回のすべての意見が掲載された資料を委員の皆様へ送付させていただきました。
9	「適正化」や「効率化」についての意見はあまりなかったように思う。施設の維持管理のため利用料の受益者負担を適切な水準にすべきではないか。商工会議所でも貸会議室があるが、料金は市民会館の3～5倍となっている。それでも維持管理が難しい状況である。	実施計画において受益者負担の適正化について記載します。
10	「若者の意見によるまちづくりの方向性」について総じて結構だと思う。 竹島水族館は年間30万人程度の来客があり、全国的な観光地として蒲郡市の宣伝を行っているが、水族館の建物や周辺の土産物売り場などは老朽化が進んでいる。市として周辺も含めて整備する必要がある。	竹島周辺の活性化は多くの市民から意見をいただく内容であるため、民間資金の活用を含めた対応を実施計画に記載したいと考えます。

次第3 マネジメントを進める上での考え方

番号	意見	対応・事務局としての考え方
11	<p>計画として、ターゲットや目標水準を設定する必要がある。どこまでコストを落とすのかなどの目標水準が示されると、議論しやすいのではないか。</p> <p>5つの基本方針それぞれに評価指標を設ける方法や、全体で1つの目標を設定する方法が考えられる。また、どういう考え方で目標を設定したか、記述する必要がある。</p> <p>→恒川) 例えば満足度や利用率なども指標のひとつである。</p>	<p>目標は、考え方も合わせて示す予定です。</p>
12	<p>「市民ニーズ」とあるが、市民の意見を、どの段階でどう把握するのか。</p>	<p>個別の整備計画を策定する段階で、「全市利用型施設」は案件ごとに、「地区利用型施設」は地区ごとに意見を聴く機会を設ける予定であり、その進め方は実施計画に記載します。</p>
13	<p>施設整備までのスケジュール及びベンチマークを示すべきである。</p> <p>→恒川) 同感である。ゴールによって方法が異なる。</p>	<p>目標の設定を実施計画に盛り込みます。</p>
14	<p>若者まちづくりミーティングの意見を考え方の根拠として挙げているが、限られた人数の参加者の意見のみが計画に反映されるのは適当でない。</p>	<p>実施計画は、平成27年度の市民会議、市民アンケート、若者まちづくりミーティング、実施計画策定会議等を踏まえて策定するものです。</p> <p>若者まちづくりミーティングのみと受け取られる表現は修正します。</p>
15	<p>市民会議やアンケートを施設整備にどうつなげるか分かる検討手順を示してほしい。</p>	<p>市民会議等の意見を反映するプロセスを実施計画で示す予定です。</p>
16	<p>プールは民間施設のフィットネスクラブがあれば十分ではないか、隣接する市の公共施設を利用すれば良いのではないかと、反対に隣接する市のニーズも踏まえた公共施設を蒲郡市に整備すると良いのではないかと、といったように、民間との連携や、広域連携の視点が欠けているのではないかと。</p>	<p>実現性のある施設について広域連携や民間活用を検討することを実施計画に記載します。</p>

17	<p>いかに定住人口を増やすかが重要である。魅力を高めて人口減少を緩やかにする必要がある。安心して生活できることや、観光資源に恵まれていることを打ち出す必要がある。そのためにも、蒲郡駅を中心としたコンパクトシティ化が必要である。蒲郡市を経営する視点から考えてほしい。</p> <p>→恒川)どこに資源を集中するかという観点で考えていくべき。</p>	<p>事務局としても同様に考えています。利便性の高い位置への集約を実施計画に記載します。</p>
18	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略等の計画を踏まえて、公共施設の計画を立てていくべきである。</p>	<p>実施計画は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の計画と整合するよう作成します。</p>
19	<p>住みやすいと若い人に感じてもらうことが必要である。</p> <p>既存の空き家・空き店舗を活用すれば、新しいものを建てるだけでない、まちづくりができるのではないか。</p>	<p>空き家や空き店舗の活用については、実施計画の「基本的な考え方」に盛り込みます。</p>
20	<p>市の体制づくりが最も重要である。組織の一元化と権限の付与、予算を適切に付与して実行を担保する仕組みが必要である。</p>	<p>組織体制は、実施計画に記載する予定です。</p>
21	<p>(「実行力」について)企業でも同様であるが、情報管理と共有化は重要である。</p>	<p>「情報管理・共有化」は、実行力を付けるためには必要な要素であると認識しています。</p>
22	<p>各セクションを束ねる組織が必要である。本来ならば副市長などが担当するべきではないか。</p>	<p>「トップマネジメント」は、平成 27 年度の市民会議からの提言に含まれている内容でもあり、同様に認識しています。</p>